

【研究一様式1】

「令和元年度研究実践園研究事業」実施計画書

園名	札幌市立中央幼稚園	園長氏名	瀬戸 富美子
研究協力園 研究協力校 連携大学	札幌市立桑園小学校、札幌市立二条小学校		
研究主題 研究副主題	主題 「幼児期にふさわしい生活の在り方を求めて」 副主題 「心動かされる体験を通して、言葉のキャッチボールを楽しむ幼児を育てる」		
研究の目的	<p>これまでの研究で、本園の幼児は、「試行錯誤を楽しみながら主体的に遊びを進めたり相手を意識して関わり考え合ったりする力が伸びてきた」「友達に言葉で伝えることが苦手で関わり方も一方的である」といった成果と課題が確認された。幼児のこのような姿の背景には、直接体験の減少、会話の不足、家庭での生活経験の偏り等も関係があると捉えた。今年度からは、「心動かされる体験」ができる教師の援助や環境の構成を探り、保護者と連携しながら子どもたちの経験を豊かにし、「伝えたい」「聞きたい」「楽しさを共有したい」などという、幼児の思いや主体性が生まれ、言葉のキャッチボールを楽しめるような子どもの育成を図っていきたいと考える。</p>		
研究内容・方法	<p>○事例の検証</p> <ul style="list-style-type: none"> 各学年の事例を通して、幼児が園生活の中で心動かされる体験ができるような教師の援助や環境の構成を検証する。 <p>○札幌私幼研究大会</p> <ul style="list-style-type: none"> 幼児が心動かされる体験ができるような教師の援助や環境の構成についての実践を参観してもらい、参観者の視点で幼児の心の動きやコミュニケーション（言葉だけではなくコミュニケーションを含む）について意見をもらい、研究に生かす。 札幌私幼の研修の場として活用されることも踏まえ、幼児期の教育の本質や重要性についても分かりやすい情報発信をすることに努める。 <p>※指導主事訪問を兼ね、幼児教育センター 指導主事 本間 真純 氏にご指導いただく。</p> <p>○幼小連携</p> <ul style="list-style-type: none"> 小学校教諭との交流会授業・保育参観を行い、具体的な姿や教師のねらいをとらえ、「幼児期の終わりまでに育てたい10の姿」を共有する。 小学校のスタートカリキュラムや1年生の育ちや学びについての理解を深め、幼小の学び（主にコミュニケーション）のつながりについて交流し、幼小接続の一層の推進を図る。 <p>○家庭との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> 様々な機会を通して、園生活の中での幼児の心動かされる体験等を保護者に伝えるとともに、家庭での様子を知ることができる方法を工夫していく。（例：学級懇談会、保育参加の懇談、学級便りや写真掲示への反応、絵本の家庭への貸し出しの様子など） 		
公開保育等	札幌市私立幼稚園教育研究大会 【日時】 9月 27日(金) 9:00 ~ 15:00 【分科会講師】 北海道教育大学札幌校 准教授 齊藤 真善 氏（講演）		

【研究一様式2】

「令和元年度研究実践園研究事業」実施報告書

園名	札幌市立中央幼稚園	園長氏名	瀬戸 富美子
研究協力園 研究協力校 連携大学	札幌市立桑園小学校、札幌市立二条小学校		
研究主題 研究副主題	主題 「幼児期にふさわしい生活の在り方を求めて」 副主題「心動かされる体験を通して、言葉のキャッチボールを楽しむ幼児を育てる」		
研究の成果	<p>○園内研究</p> <p>・事例の検証から、遊びの中で幼児の心が動くことで、教師や友達と関わりたい、話したいという気持ちが高まることが分かり、そのためには『心動かされる体験』を支えるため、教師が幼児の思いを受け止め、その思いを友達につなげていくことなどの援助が大切であることが確認できた。また、友達との言葉のキャッチボールを楽しむためには、友達との関係性の深まりや自信をもつことも重要であると分かった。</p>  <p>○幼小連携</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div data-bbox="391 1568 710 1892"> <p>二条小学校 ＜スタートカリキュラムについて～1年生の授業参観・職員交流より＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入学前から実態把握や担任への引継ぎなどを行うことが増えている。 ・給食の準備の仕方などの生活の仕方を動画を活用し、分かりやすく指導していた。 </div> <div data-bbox="742 1568 1428 1892"> <p>桑園小学校 ＜幼稚園と小学校低学年の接続について～参観（桑園小1年生担任来園）、子ども同士の交流（年長児と1年生、5年生）、職員交流より＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園参観で、子どもたちの遊びや友達との関わり方、学級活動の様子などが分かった。（小学校の先生より） ・職員交流の中で、幼稚園と小学校で大切にしたいこと『非認知能力』の視点から幼小生活の仕方、子どもたちの様子、それに対する園や学校の対応、家庭との連携などについて話し合い、幼小の接続の重要生について確認し合うことができた。 </div> </div> <p>○札幌市私立幼稚園教育研究大会（9月27日）</p> <p>参加者数 私立幼稚園 70名、認定こども園 12名、市立幼稚園 18名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・午前～公開保育・保育研究（本園の研究発表・保育反省・グループ協議） ・午後～講演会 <p>『特別な支援を必要とする幼児などの理解～集団の中での実際の指導について学ぼう！』 講師 斎藤 真善（北海道教育大学 准教授）</p>		